

授業アドバイスシート

【中学校国語①】

文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる活動の充実を図ろう

実態

○ 【全国中学生新聞】を題材にした設問1の一「新聞の見出しについて説明した内容として最も適切なものを選択する」の平均正答率は62.6%で、全国と比較して-1.3ポイントの差がありました。

新聞の見出し文の効果を読み取る設問に対し、日本の文化の例が複数示されていることは捉えているものの、そのことにどのような効果があるかが理解できていない解答が20.4%ありました。



対策

- ① 目的や意図に応じて、自分の根拠を明確にしながら考えをまとめ、交流したり書いたりする活動を設定しましょう。
- ② 文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の考えを支える根拠となる段落や部分などをもとにまとめるよう指導しましょう。

<対策のポイント>

- 相手意識、目的意識を明確にしながら、考えを伝える言語活動を設定しましょう。
 - ・ 興味・関心を喚起するような言語活動を設定しましょう。
 - ・ パンフレット等、考えを伝えるための文章等に触れ、文章の構成や展開を捉えたり、表現の仕方について考えたりできるよう、提示の仕方を工夫しましょう。
- 自分の考えを、説得力を伴って表現できるように指導しましょう。
 - ・ 文章の構成や展開、表現の仕方について分析するとともに、書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりできるように指導しましょう。
 - ・ 級友との交流を通して参考になった意見をもとに、自分の考えを改善したり、表現を工夫したりできるようにしましょう。

取組例 職場体験の魅力を伝えるチラシを作ろう（第2学年）

下級生等に向けて、職場体験の内容や楽しさを伝えるチラシを作成する実践です。表現の工夫や効果について、級友と交流したり、パンフレット等から学んだりして自分の考えを改善していきます。

学習過程例

【第1時】

「1年生に向けて、職場体験の魅力を伝えるチラシを作る」ための学習の見通しをもつ。教師が提示したチラシやパンフレットの工夫とその効果について考える。

【第2時】

職場体験の魅力を伝えるチラシの下書きを作成する。互いのチラシの表現の工夫やその効果についてグループで交流し、下書きを改善する。

【第3時】

職場体験の魅力を伝えるチラシを作成する（特別活動や総合的な学習の時間なども活用する）。

【第4時】

チラシの表現の工夫やその効果についてグループで交流し、学習の振り返りをする。

第1時

みんなが行った職場体験の事業所や職種の魅力を1年生に伝えるチラシを作ります。

- ① 学習の見通しをもつ。
- ② 教師が提示したチラシやパンフレットの表現の工夫とその効果について、グループで考える。



教師

それぞれのグループに配付したチラシやパンフレットを読んで、表現の工夫を見つけ、その効果とともにワークシートにまとめましょう。

- ・旅行のチラシ
- ・地域行事のチラシ
- ・電化製品のパンフレット
- ・映画のパンフレット など

〔ワークシートの例〕 旅行のチラシ

表現の工夫	効果
・その土地のきれいな景色の写真を入れている。	・一目見て分かる。 ・その土地に行ってみたい気持ちになる。
・名産品や見どころなど、伝えたいことを目立つ色で大きく書いている。	・その土地の特徴がすぐに分かる。

- ③ グループで考えた表現の工夫とその効果を発表する。

第2時

- ④ 自分が職場体験を行った事業所や職種の魅力を伝えるチラシの下書きを作成する。
- ⑤ 作成したチラシの下書きについて、表現の工夫やその効果をグループで交流し、下書きを改善する。

職場体験で行った業務について詳しく書いてみたけど、1年生に伝わるかなあ。



イラストを入れて、「①…②…」のように番号を付けて短い言葉で書くと、1年生にも分かると思うよ。

グループ交流でもらったアドバイスを生かして、下書きを改善しよう。また、友達の発言を聞いてなるほどと思ったことは、自分のチラシ作りにも取り入れていきましょう。

私は、きれいな店内の様子を写真で載せてみようかなあ。

第3時

- ⑥ 職場体験先の事業所や職種の魅力を伝えるチラシを作成する（特別活動や総合的な学習の時間なども活用する）。

第4時

- ⑦ 完成したチラシの表現の工夫やその効果についてグループで交流する。

友達からアドバイスももらって、職場体験先での業務の様子を、イラストや写真を入れながら「①…②…③…④…」と番号を付けて書いたよ。

番号の次に、短い言葉で見出しが付いているので、1年生にも分かりやすいと思います。



事業所の方との楽しいエピソードも紹介してあって、チラシを見た1年生も行ってみたくなると思います。

とても親切にいただいたし、明るくて楽しい事業所の雰囲気が1年生に伝わるといいなあ。

- ⑧ 学習の振り返りをする。

授業アドバイスシート

【中学校国語②】

話し合いの話題や方向を捉えて、自分の考えをもち、まとめられるようにしよう

実態

- 設問2三「話し合いの流れを踏まえ、自分の考えを書く」の平均正答率は60.4%で、全国と同等であったものの、無解答率が8.7%ありました。話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをまとめることができていないという実態があります。



対策

- ① 話し合いの仕方について見通しをもった上で話し合う活動を設定しましょう。
- ② 話し合いの途中で状況を確認し、必要に応じて進め方を修正して話し合うことを通して、話題や方向を的確に捉え、自分の考えをもてるようにしましょう。

<対策のポイント>

- 目的を持って話し合うための言語活動を設定しましょう。
 - ・ 一定の合意を形成して物事を決める必要のある議題を設定しましょう。
 - ・ 見通しをもったり、話し合いを深めるために、ワークシートなどの手だてを活用しましょう。
- 自分の考えを、説得力を伴って表現できるように指導しましょう。
 - ・ 文章の構成や展開、表現の仕方について分析するとともに、書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりできるように指導しましょう。
 - ・ 級友との交流を通して参考になった意見をもとに、自分の考えを改善したり、表現を工夫したりできるようにしましょう。
 - ・ 国語科で学習した話し合いの仕方を、他教科の言語活動に生かしましょう。

取組例 「話し合いのデザインシート」を用いて話し合おう（第1学年）

どのように話し合いを進めれば、十分に議題を話し合えるのか、「話し合いのデザインシート」を使ってグループで検討するとともに、自分の考えをもち改善していく実践です。

1 学習の見直しをもつ。



グループでの話し合いを通して、学級で決めた議題について自分の考えをもつ学習をします。これまでの学習を振り返り、グループごとに、「話し合いのデザインシート」を作成した上で話し合います。途中で話し合いの状況を確認し、必要に応じて「話し合いのデザインシート」を修正します。最後に、議題について十分に話し合うことができたかどうかや、自分の考えをもつことができたかどうかについて振り返ります。

2 これまでの学習を振り返る。

〔生徒の発言をまとめた板書の例〕

【これまでに学んだこと】
全員が自分の考えを述べること。
考えを述べる際には理由を添えること。
他人の考えを聞いて、疑問をもったら質問すること。
一人一人の考えについて検討すること。
話し合う内容や順序、時間配分などを考え、計画的に進めること。

3 グループごとに話し合いの仕方について考え、「話し合いのデザインシート」に記入する。

〔話し合いの仕方について考えている場面の例〕

議題：学級文集に付けるタイトルについて



グループの全員が納得できるタイトルにしたいな。



まずそれぞれの考えを出し合って、その後、出された考えについて一つずつ検討していくというのはどうかな。



一人一人の考えを検討する際には、どのような理由があるのかを確かめる必要があるので、時間を長めに取った方がいいのではないかな。



今回は、司会などの役割を決めずに自由に話し合おうよ。記録は各自で取るということでよいのではないかな。

【教師の指示をもとに作成した例】

- ①全グループ共通で、話し合う時間は30分間とする。
- ②15分経過した時点で話し合いの状況を確認する時間（5分間）を取る。

「話し合いのデザインシート」

〇〇グループ

〔議題〕

学級文集に付けるタイトルについて

〔どのように話し合うのか〕

0分 それぞれの考えを出し合う。(5分)
5分 出された考えについて、理由を含めて検討する。(15分)

15分 [確認] (5分)
20分

25分 グループとしての結論をまとめる。(5分)
30分

〔議題について十分に話し合うことができたか〕

※ 青字は、生徒が記入した部分。

- 4 作成した「話し合いのデザインシート」に沿って話し合う。
- 5 話し合いの状況について、グループで確認する。



グループとしての結論に向けて、どの程度話し合いが進んでいますか。内容の検討が十分にできているかや、予定どおりの時間で進んでいるかなどについて確認し、「話し合いのデザインシート」の【確認】の欄に記入しましょう。その上で、必要に応じて残りの時間の話し合いの仕方を修正しましょう。

【話し合いの状況について確認している場面の例】【⑤～⑦の学習後の記入例】



たくさんの考えが出されたけど、二つの案に絞られてきたね。ただ、それぞれの案について、なぜよいと考えるのかについては十分に検討できていないね。



二つの案をよいと考える理由について、共通点と相違点を整理して、この後の検討事項を絞り込まないと、時間内に十分な結論を出すことは難しいのではないかな。



それぞれの案のよいところをつないで、新しい案を考えてみるのもいいね。



残り時間があまりないね。司会を立てれば、話題がそれることなく効率的に話し合いが進むのではないかな。

15分
20分

【確認】(5分)

- ・ **みんなが納得する結論を出すための話し合いになっているか。**
 - **考えの理由に着目。**
 - **それぞれの案のよいところを生かす。**
- ・ **効率的に進められているか。**
 - **検討事項を絞る。**
 - **司会を立てる。**

27分
25分
30分

グループとしての結論をまとめる。
(5分) 3分

【議題について十分に話し合うことができたか】

- ・ **全員の考えの理由については検討する時間がなかったが、絞り込まれた二つの案の理由については十分に検討することができた。みんなが納得する結論が出せた。**

※ 赤字は、生徒が新たに記入した部分。

- 6 話し合いを再開し、グループとしての結論を出す。
- 7 議題について十分に話し合うことができたかどうかをグループで振り返り、「話し合いのデザインシート」に記入する。
- 8 話し合いの経緯を踏まえ、自分の考えがどのように変わったりまとまったりしたのかをノートに書く。

【生徒の記述の例】

「COLORFUL」というグループの案に賛成です。私は最初、「学級文集 はじめの一步」という案を考えていました。でも、Bさんの「学級文集は、1年生の最後に編集するもの」という発言と、Cさんの「私たちの学級らしさを表したい」という発言を聞いて考えが変わりました。みんなで検討して決めた「COLORFUL」は、いろいろな個性が集まった1年C組の学級文集のタイトルとして、とてもよいと思います。

参考：令和元年度授業アイデア例（国立教育政策研究所教育課程研究センター）

授業アドバイスシート

【中学校国語③】

自分が伝えたいことについて、根拠を明確にして意見文を書く
学習に取り組もう

実態

- 設問3「意見文の下書きに、地域の店の魅力を書き加える」の平均正答率は77.5%（全国比-0.3ポイント）であり、無解答率も7.9%と高かったです。
意見文を書く際に、資料の中にある情報を自分が伝えたいことの根拠として用いて、読み手に分かりやすく書くことに課題が見られました。



対策

- ① 読み手を意識しながら、資料の情報を根拠として意見文を書く学習を設定しましょう。
- ② 書いた文章を観点に沿って読み合い、よい点や改善点について交流することを通して、根拠を明確にして伝えたいことを書く力が身に付くようにしましょう。

<対策のポイント>

- 読み手を意識しながら意見文を書く言語活動を設定しましょう。
 - ・ 生徒の身近なテーマや、多様な意見が期待されるテーマを設定しましょう。
 - ・ 完成した意見文を掲示したり、便りで紹介する場を設けたりするなどして、生徒の意欲を喚起する工夫をしましょう。
- 読み手の共感を得られる、根拠を明確にした意見が書けるように指導しましょう。
 - ・ 学習の中間で、ノートの確認等を通じて生徒の学習状況を分析し、必要に応じて指導や助言を行う計画を立てましょう。
 - ・ 意見文の下書きを読み合う場面では、読み合う観点を示すなどして、効果的な交流が行われるための手だてを工夫しましょう。

取組例 読み手を意識しながら、意見文を書こう

読み手を意識しながら、集めた資料の中にある情報を根拠として用いて、意見文を書く学習活動です。意見文の根拠のふさわしさ等について、グループで助言し合いながら学習を進めます。

学習過程例

第一次（1時間目）

「読み手を意識しながら、意見文を書く」ための学習の見通しをもつ。

意見文のテーマに沿って自分が読み手に伝えたいことを決め、伝えたいことにふさわしい根拠について考える。各自で必要な資料を集める。

第二次（2・3時間目）

「資料にある情報が、それぞれの伝えたいことの根拠としてふさわしいかどうかについて、グループで助言し合う。助言を踏まえ、意見文の下書きをノートに書く。

意見文の下書きを観点に沿ってグループで読み合い、よい点や改善点について交流する。

第三次（4時間目）

グループで交流した内容を踏まえ、各自で意見文を完成させる。学習を振り返る。

（言語活動） 読み手を意識しながら、意見文を書く。

第1時

1 学習の見通しをもつ。



テーマに沿って、意見文を書きましょう。完成した意見文は、多くの生徒が読めるように教室の前などに掲示します。それぞれが伝えたいことやその根拠について、読み手が共感したり納得したりすることができるように、個人で考えたりグループで助言し合ったりしながら進めます。

2 意見文のテーマに沿って自分が読み手に伝えたいことを決め、伝えたいことにふさわしい根拠について考える。

3 各自で必要な資料を集める。

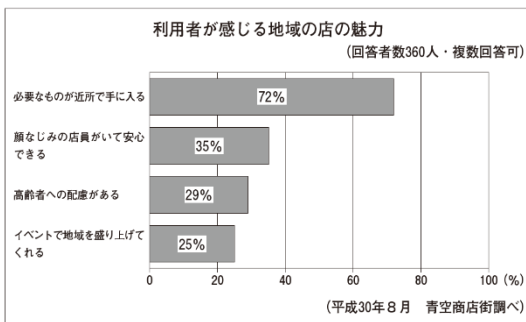
意見文のテーマの例

- 地域と私たちとのつながり
- 地域の伝統を守ることについて
- 身近なマナーについて

など

第2時、第3時

4 資料にある情報が、それぞれの伝えたいことの根拠としてふさわしいかどうかについて、グループで助言し合う。（ここでは、平成31年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語3を例として取り上げて、その流れを示す。）



Aさんが住んでいる地域の広報誌の一部

〔Aさんが伝えたいことの根拠についての助言の例〕

私は、意見文の中で、地域の店は必要であることを伝えようと思います。その根拠として、インターネットにはない地域の店の魅力の例を示したいのですが、「必要なものが近所で手に入る」と回答している人が最も多いので、この情報を用いて書こうと思います。

「必要なものが近所で手に入る」は72%の人が回答しているので、数値としては説得力があると思います。



足りなくなった文房具などもすぐに用意することができるので、「必要なものが近所で手に入る」というのは、本校の生徒も共感しやすいと思います。

5 ④で得た助言を踏まえ、意見文の下書きをノートに書く。

〔Aさんの意見文の下書きの例〕（①から⑤は、下書きの番号。）

- ① 最近、我が家ではインターネットを利用して買い物をする機会が増えている。それは、店に行かなくても豊富な商品を選べる上、重い荷物を持たなくてよいからだ。母も「便利になった。」と喜んでいる。これは、インターネットでの買い物ならではのことだ。しかし、いくらインターネットが便利でも、皆が買い物の多くをインターネットで済ませるようになったら、地域の店はいったいどうなってしまうのだろうか。
- ② 地域の店はこれからも必要だ。なぜなら、地域の店には、インターネットでの買い物にはない魅力があるからだ。
- ③ 私は昨年度、学校の近くの店で職場体験をした。その店では、インターネットでは出回らない、地元の特産品を販売していた。私が自宅で使っている箸もその店で買ったもので、地元の木で作られている。他では買えないその土地ならではの商品を、手に取って選ぶことができるのは、地域の店の魅力だ。
- ④ また、昨年八月に青空商店街が行ったアンケート「利用者が感じる地域の店の魅力」の結果からも分かることがある。例えば、「必要なものが近所で手に入る」という点も地域の店の魅力であると考えてる。
- ⑤ 我が家でも買い物の仕方を見直し、インターネットだけでなく地域の店も積極的に利用し、その店を通して地域の魅力をどんどん見付けていきたい。皆さんも毎日の暮らしに目を向けて、地域とのつながりについて改めて考えてみてはどうだろうか。

6 ⑤で書いた意見文の下書きを観点に沿ってグループで読み合い、それぞれのよい点や改善点について交流する。

〔「Aさんの意見文の下書き」についての交流の例〕

第③段落には職場体験のこと、第④段落には資料の中から取り出した情報を書きましたが、私が伝えたいことの根拠としてどうでしょうか。

第③段落に書かれているAさんの体験に共感できます。第④段落で用いている情報については、具体的な数値も示した方が、説得力があると思います。



「必要なものが近所で手に入る」ことが、なぜ地域の店の魅力なのかを読み手に分かるように、説明を加えた方がよいのではないのでしょうか。



読み合う際の観点の例

- ア 自分の伝えたいことにふさわしい根拠が示されているか。
- イ 資料の中から根拠として取り出した情報が正確に書かれているか。
- ウ 読み手を意識し、自分が伝えたいことの根拠として十分な内容が示されているか。

など



第3時終了後に、ノートの記述内容を教師が分析して、下の事項が押さえられているか確認しましょう。

- 資料の中から自分が伝えたいことの根拠としてふさわしい情報を取り出して、正確に書いている。
- 取り出した情報について、自分が伝えたいことの根拠であることが分かるように書いている。

不十分だった生徒については、第4時の意見文を書き直す様子を観察し、自分が伝えたいことの根拠として十分な内容が示されているかどうかについて考えさせるなど、必要に応じて指導しましょう。

第4時

7 ⑥で交流した内容を踏まえ、各自で意見文を完成させる。

〔「Aさんの意見文の下書き」の第④段落を書き直した例〕※ 下線部は、書き直した部分。

- ④ また、昨年八月に青空商店街が行ったアンケート「利用者が感じる地域の店の魅力」の結果からも分かることがある。例えば、「必要なものが近所で手に入る」という点に着目している人が七十二パーセントいる。実際に、私も足りなくなったり急に必要になったりした文房具などを近所の店に買いに行くことがある。このようなことも、地域の店の魅力であると考えてる。

8 学習を振り返る。

参考：令和元年度授業アイデア例（国立教育政策研究所教育課程研究センター）